

EXCEL 1 級1

関数	用途
ROUNDUP()	小数点切り上げ
ROUNDDOWN()	小数点切り捨て
VLOOKUP()	等級から固定給を参照
IF()	条件によって表示を切替
AND()	2つの条件を同時に満たす
DSUM()	条件付き合計
DMAX()	条件付き最大値

問題の概要

入力データ・基準テーブル・固定給テーブルをもとに、2つの表と1つのグラフを完成させます。

出力形式1：販売データ表

出力形式2：社員別支給総額一覧表

出力形式3：勤務状況や等級別の集計

処理手順まとめ

【出力形式1：販売データ表】

表の体裁を整える（中央/左/右ぞろえ、桁区切り）

評価係数の計算 → $\text{=ROUNDUP(販売数 / 基準販売数 * 100, 0)}$

評価点の計算 → $\text{=ROUNDUP(販売額 / 基準販売額 * 100, 0)}$

出来高給の計算 → =960 * 評価係数 * 評価点

合計行（販売数・販売額・出来高）を追加 → オートSUMとドラッグコピー

【出力形式2：社員別支給総額一覧】

固定給の取得 → $\text{VLOOKUP(等級, 固定給テーブル, 2, FALSE)}$

出来高給：出力形式1からコピーし値貼り付け

特別手当 → $\text{ROUNDDOWN((固定給 + 出来高給) * 0.05 * 出勤日数 / 20, -1)}$

支給総額の計算 → $\text{=固定給 + 出来高給 + 特別手当}$

判定（星★） → $\text{IF(AND(出勤日数 >= 18, 支給総額 >= 400000), "★★★★", IF(AND(...), "★★★", "★"))}$

合計行を追加（固定給・出来高給・手当・総額）

【出力形式3：集計と分析】

勤務日数18日以下の支給総額合計 → DSUM

等級「E」以外の特別手当の最大値 → DMAX

【グラフ作成】

積上げ横棒グラフ（固定給・出来高給・特別手当）

表題と見出し整形、罫線処理、印刷設定（名前はヘッダーへ）

EXCEL 1 級1

関数	用途
ROUNDUP()	小数点切り上げ
ROUNDDOWN()	小数点切り捨て
VLOOKUP()	等級から固定給を参照
IF()	条件によって表示を切替
AND()	2つの条件を同時に満たす
DSUM()	条件付き合計
DMAX()	条件付き最大値

Step 1 : 入力と見出し整備

「請求明細一覧表」のタイトルと各項目（顧客コード、商品コード、注文数 など）を入力。
見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃え・3桁区切り。

✦ Step 2 : VLOOKUP関数で情報を取得

顧客マスタ・商品マスタから情報を取得（顧客名、商品名、商品単価）。
絶対参照（F4キー）に注意。

✦ Step 3 : 出荷額の計算（ROUNDDOWN）

出荷額 = 出荷数 × 商品単価。
ROUNDDOWN(数式, -2)で百の位未満を切り捨て。

✦ Step 4 : 割引率の計算（IF関数）

出荷数が1500以上→5%、1000以上→3%、それ以外→2%。
IF関数をネストして対応。

✦ Step 5 : 請求額の算出

請求額 = 出荷額 × (1 - 割引率)。

✦ Step 6 : 判定処理（VLOOKUP+IF）

請求額と出荷数に応じて「丸」「二重丸」「三角」などを表示。
判定表を作成し、VLOOKUP+IFで列選択。

✦ Step 7 : 顧客別集計表（DSUM等）

DSUM, DCOUNT, AVERAGEなどを使用。
条件付き集計表を作成し特定条件で絞り込み。

✦ Step 8 : グラフの作成

顧客別「出荷額」「請求額」の集合縦棒グラフ。
タイトル：「顧客別請求集計グラフ」。

✦ Step 9 : 書式と印刷設定

罫線設定：外側＝太線、内側＝細線。
印刷設定：横方向・拡大縮小なしで1ページ・ヘッダーに名前を記入。